

平井小学校

- 1.団体名 平井小学校緑の少年団
- 2.所在地 木田郡三木町平木710-1
- 3.団員数 全校児童
- 4.活動内容

【学習活動】

1 親子クリーン作戦

毎年夏休みの期間（コロナのためここ数年は秋に実施）に、5・6年生児童と全校生保護者、教職員が校内の樹木の剪定や草抜きを行っている。児童は、保護者に剪定の方法や草抜きのコツを教えてもらいながら、校内の緑化環境を整備している。



2 委員会での校内緑化活動

来校した人が明るい気持ちになれるように5・6年生のハッピーフラワー委員会の児童が、毎朝、正門前の花壇とプランターに植えられた花の水やりや草抜き、花がら摘みを行っている。

3 学級園での栽培活動

本校では、1～6年生と特別支援団それぞれが、花壇や畑、植木鉢を使って花や野菜を栽培している。例えば、1年生は生活科の授業の一環で、植木鉢を使いアサガオを育てている。また、2年生は同じく鉢で夏野菜を育てたり、畑でサツマイモを育てたりしている。

【社会奉仕活動】

4 人権の花の栽培活動

法務省や全国人権擁護委員連合会企画の「人権の花運動」に参加し、6月に5年生がプランターに「マリーゴールド」「マツバボタン」「ニチニチソウ」の花の苗を植え、毎日水をやって育てた。元気に育った花のプランターを、町内に緑と温かい人権の心が広がるように地域の施設や家庭に配った。

5 地域の「田んぼアート」への参加

地域の有志が育てた古代米を使った田んぼアートの稲刈りに参加した。児童、教員、保護者の代表7名が参加して10月に大きく実った稲を刈った。

【レクリエーション活動】

6 田植え・稲刈り・餅つき体験

地域の方のご厚意で、3年生が5月に田んぼに餅米の苗を植える活動と、10月に稲刈りの体験をさせてもらっている。昔の足踏み式の脱穀機で脱穀する作業も体験させてもらっている。収穫した餅米を使って、12月には、3年生が地域の方と餅つき体験を毎年行っている。杵と臼を使って餅をつく体験は、児童にとって貴重な体験であり、自分たちでついたもちは大切に持ち帰り家族で味わっている。